

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	小笠原 朗	電 話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9934		事務事業名称	水質管理事業						短縮コード	経常	9934	臨時	
予算区分	会計	63	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	01	原水及び浄水費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等	水道法								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
水道事業開始以来、安全かつ清浄な水を送れるよう水質検査を行っている。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 平成15年度に水道水の水質基準が大幅に改正され、水質検査計画の策定や水質検査の信頼性確保に関する体制の導入が位置付けられた。また、水質検査項目や検査方法等が随時見直されると共に、検査機器の整備等検査体制の充実が強く求められるようになっている。					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	02	安心・快適な給水の確保						
						細 項 目	01	水道水質管理の充実						
実施計画の計画事業														
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	水道水							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 水質検査計画を策定し、事業年度開始前に公表した。 水質検査は、水質検査計画に定めたとおり計画的に実施し、水道水の安全性を確認した。							
	※平成21年度に計画していること： 水道法施行規則第15条に基づき「水質検査計画」を作成し、計画的に水質検査を実施する。							
意図 （何を狙っているのか）	水質基準に適合した水道水を利用者に供給する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	1 日 平均 給 水 量	m3	53, 174	55, 004	53, 109	53, 948	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	原水の水質検査検体数	件	47	44	42	50	
	指標 2	給水の水質検査検体数	件	109	162	117	117	
	指標 3							
成果指標	指標 1	水質に関する苦情件数（赤水の苦情は除く）	件	32	0	38	0	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	9934	事務事業名称	水質管理事業				所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			現状のまま維持することで、安心・安全な水道水を供給できる。ただし、鉛管の更新に伴う水質検査や水質に関する苦情処理等は、これまで通り、直営で対応していく必要がある。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止（事業完了含む）								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状の内容で、安全な水道水が供給できるよう維持する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
健康志向の高まりに伴い、 より安全で良質な水道水を求められるようになってきた。	

所属長コメント	平成20年度水質検査計画に基づいて水質検査を実施し、安全な水道水の供給ができた。今後も、安心・安全な給水を確保するため、水質管理を継続していく。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止（事業完了含む）	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	